

「松江 C 人間文化学部地域文化学科」と「浜田 C 総合政策学部」及び「島根大学社会文化学科・言語文化学科」との共通点・相違点

松江 C 人間文化学部地域文化学科 × 浜田 C 総合政策学部	
共通点	県立の大学として、いずれも地域(島根)を重視した学び。
相違点	<p><u>総合政策学部(浜田)</u> 地域社会を国際関係や政治・経済・法律の観点から考察し、課題を見出して政策を立案する能力を養う。 社会学系の学びが中心で、経済学部や法学部等との競合性が高い。</p> <p><u>地域文化学科(松江)</u> 地域社会を文化の観点から考察し、地域における歴史や文化の魅力を見出して地域社会の活性化に役立てる能力を養う。 人文学系の学びが中心で、文学部等との競合性が高い。</p>
松江 C 人間文化学部地域文化学科 × 島根大学法文学部社会文化学科・言語文化学科	
共通点	学科名称に「文化」の文字が共通して使用されていることから分かるように、いずれも人文学主体の学び。 学びの内容が近い分、地域文化学科にとって島大法文の社会文化学科・言語文化学科は、浜田キャンパスの総合政策学部よりも競合性は高く、それゆえ学びの特色化・差別化がより重要となる。
相違点	<p><u>社会文化学科・言語文化学科(島大松江)</u> 歴史や文化の専門的な学び 「コース」や「研究室」によって学びの専門性が細かく分けられ、それぞれの学問領域について専門的に学ぶ。 社会文化学科:現代社会コース(社会学・地理学・文化人類学)、歴史と考古コース(日本史学・東洋史学・西洋史学・現代史学・考古学) 言語文化学科:日本言語文化研究室、中国言語文化研究室、英米言語文化研究室、ドイツ言語文化研究室、フランス言語文化研究室、哲学・芸術・文化交流研究室。</p> <p><u>地域文化学科(県大松江)</u> 地域(島根)の文化を重視+歴史や文化の総合的な(地域から世界までの)学び 地域文化学科では、地域の文化の特色を知るためには日本の様々な文化について知る必要があり、日本の文化の特色を知るためには世界の文化にも目を向けなくてはならないという考え方のもと、「地域文化」を基盤としながら、「日本文化」「国際文化」についての総合的な学びを掲げる。 地域文化学科では、2年次から「日本文化コース」「国際文化コース」のどちらかを選択するが、これは、学生の関心に応じて履修の比重を「日本文化」に置くか、それとも「国際文化」に置くかを定める仕組みであって、どちらか一方のみを学ぼうとするものではない。</p>